

枕崎



特集

市長 新年のごあいさつ

第6回郷土芸能大会
駒水ヤンセ踊り
〈関連記事12〉

令和2年(2020年)がいい年でありますように
皆さまのご健勝、ご多幸、ご活躍を心からお祈りします

枕崎市長
前田 祝成



謹賀新年

12月3日 白沢海岸

明けましておめでとうござい
ます。皆様方には、「令和」最初
の年越しを健やかに迎えのこ
ととお喜び申し上げます。

昨年は新しい元号「令和」の時
代が始まった区切りの年でした
が、枕崎市にとりましても市制
施行70周年という記念の年とな
りました。9月1日の市制施行
記念日の記念式典をはじめ、第
2回枕崎国際芸術賞展開催など
の記念事業を実施いたしました。
昨年の70周年は、記念式典
での「玉城ちはるコンサート」命
の参観日や南浜館に青空美
術館100基目の立体作品とし
て市民のご協力により制作した
「枕崎この地に生きる」大切な命
」、「そのほかさまざまな事業の
中で「生命(いのち)」をテーマに
してまいりました。市民一人一
人が自身の命に向き合い、与えら
れた命について考える機会にな
ればとの思いで取り組みまし
た。年末の紅白歌合戦に竹内ま
りやさんが「いのちの歌」で初出
場するというニュースには何か
因縁めいたものも感じました。
昨年を振り返りますと、本市

す。昨年の茨城国体で鹿児島県
なぎなたチームは総合2位の好
成績を挙げており、今年の大会
は優勝が期待されています。市
民一丸となつて鹿児島県なぎな
たチームを応援しましょう。

そして今年も、地方創生の第
2期のスタートの年となりま
す。平成27年から始めた「枕崎市
地方創生総合戦略」が今年3月
で1期目の計画を終了し、4月
から「第2期枕崎市地方創生総
合戦略」に取り組みます。地方創
生総合戦略とは、国の人口減対
策として平成26年に施行された
「まち・ひと・しごと創生法」を
基に、人口減少、少子化、高齢化
の進む地方自治体を取り組ん
できた5年間の戦略です。これま
での戦略を検証し、新たな戦略
に取り組むのが今年始まる「第2
期枕崎市地方創生総合戦略」と
いうこととなります。今年策定
する新たな戦略では、生産額、
所得額に焦点を当てた数値目標
を定め、地域経済の活性化によ
る地方創生へ向けた施策を行っ
てまいります。地域内消費を高
めるための地産地消への取り組

の高校生の活躍がとても記憶に
残る一年だったように思います。

枕崎高校が6月の文化祭で、公
益社団法人日本青年会議所九州
地区鹿児島ブロック大会とコラ
ボした「SDGs」への取り組み
は、未来のまちづくりへつなが
る大いなる可能性を示してくれ
るものでした。また、枕崎高校
野球部の活躍は枕崎市民を大い
に元気づけてくれました。一方、
鹿児島水産高校は全国高等学校
水産教育研究会での最優秀賞受
賞や陸上競技女子ハンマー投げ
での鹿児島県高校総体優勝、全
国高校総体出場などの個人の活
躍をはじめ、2年目に突入した
SPH(スーパー・プロフェッ
ショナル・ハイスクール)事業の
さらなるレベルアップなど全国
へ誇れる活躍をしてくれました。
さて令和2年の今年も、7月
から9月に「2020東京オリン
ピック・パラリンピック」が日本
で56年ぶりに開催されます。10
月には鹿児島県で「燃ゆる感動
かごしま国体」が開催され、本市
ではなぎなた競技が10月10日か
らの3日間の日程で実施されま

みやエネルギー消費の地域内循
環への取り組みなど地域の中で
経済を回す仕組みを強固なもの
にします。また地域内雇用の促
進、女性活躍社会の実現など枕
崎で暮らす市民の所得向上に取
り組みます。そして既存産業の
競争力強化のための価値向上、
さらには観光面においても新し
い価値を生むことができる事業
を創出し、関係人口を増やすこ
とで外からの収益拡大を図りま
す。具体的な施策の立案、実行
にあたっては多くの市民の皆様
とのコミュニケーションを図り、
意見を交わしながら進められる
よう、「語る会」等を通じて進め
てまいります。私自身、今年が
新しい戦略をスタートさせる年
となることにワクワクした気持
ちです。皆さんと一緒に「走る一
年」になればと思っています。本
年も何とぞよろしくお願いいた
します。
結びに、今年一年が市民の皆
様にとって笑顔の多い幸せな年
となりますようご祈念申し上
げ、年頭のあいさつといたしま
す。

10月31日から11月19日までの期間、地域懇談会として第3回「市長と語る会」が市内5会場で開催され、延べ265名の市民の皆さんが参加しました。

冒頭、市長から5月に開催された「市長と語る会」で話があった「産業」「教育、子育て」「コミュニティ、生活環境、健康、福祉」についての現在の取り組み状況と今回のテーマである「地方創生」について説明があった後、市民の皆さんから質問・意見・要望を伺いました。

市長の説明と市民の皆さんから出された「意見等」のうち、主なものを報告します。

市長説明 産業については、枕崎水産加工業協同組合の再資源化施設の化成工場が8月に稼働した。枕崎ブランドの販売関係では、アンバサダー協定を結んでいる博多大丸との取り組みで、10月26日、27日の2日間、枕崎の水産加工品等やお茶の販売を実施した。また、11月13日から30日までの期間に開催される九州特産品のフェアに市内企業3社が出店する計画もあり、博多大丸との関係も深まってきた。

学校施設については、小中学校に空調設備が設置された。また、プログラミング教育を支えるタブレットが小学校に10月から導入された。

7月から9月にかけて開催した第2回枕崎国際芸術賞展は期間中に4477名の入館者を迎えて実施することができた。

今年から取り組んでいる「高血

球や高校野球の合宿誘致、全国の大学野球やノンプロのキャンプ誘致をができないかと考えている。

木質バイオマス発電

質問 枕崎のエネルギー施設（発電所等）について、詳しく教えてください。

回答 来年10月、仁田浦に木質バイオマスの発電所ができる。基本的には発電所ができて九電に売電するが、今、全国各地で電力小売会社を立ち上げている所がある。福岡県みやま市では、電力小売会社を地域に立ち上げ、電力を地域の企業や一般家庭等に売電して収益を上げ、その収益の中からまちづくりに活用するビジネスモデルがある。県内では、いちき串木野市、日置市、肝付町が既に取り組んでいる。立ち上げたばかり



▲11月19日、金山センター

庄ゼロの街 枕崎」プロジェクトについては、市内に血圧計を設置して市民の皆さんに血圧測定を勧められている。また、高齢者、障害者に対するタクシード助成の取り組みも10月からスタートした。申請率は約30%にとどまっているが、使用実績を検証することにも、さらなる利用促進を図る。

そのほかの生活面では、防災行政無線のデジタル化整備も順調に進んでいる。また、枕エゴプロジェクトの中でごみの減量化にも努めている。

地方創生については、5年前の地方創生総合戦略は、全国的な人口減少、少子化、高齢化、東京一極集中の是正を目的としたものであったが、この5年間で地方の人口減少は止まらず、東京一極集中は加速している。

本市でも「第1期 枕崎市地方創生総合戦略」を策定し5年間進

でビジネスとして動いてない所もあるようだが、可能性が非常に大きいと感じている。

観光

意見 現在、枕崎の観光は素通りされる場所であるので、短期ではなく長期で泊まってもらう人を多く集めないといけない。

回答 長期で滞在できる形の観光で人を呼び込むことは大事だと考えている。見る所や実際に活動する所をしっかりとついできたい。

意見 5月に火之神公園に行ったら約35張りほどのテントがあった。県外の遠くから来ている人もいる。定住者を増やすことはもちろんだが、来る人を増やすことも必要である。

回答 火之神公園は枕崎にとつて相応な強みだと思っている。もつとキャンプをする人たちが集まってくるような仕組みを考えている。せっかく来ているのになぜお金を取らないのかという意見も聞くが、無料でいいのでたくさん来てもらい、来た人たちが枕崎で消費する、そのための仕組みをつくらうと思っている。

タクシード助成

質問・要望 タクシード助成の申請率が約30%ということについて

日本一幸せな2万人のまちを目指して ～第3回「市長と語る会」～

10月31日・立神センター 11月5日・城山センター 8日・市民会館 15日・別府センター 19日・金山センター

めてきたが、国の人口推計を見ると、平成27年の国勢調査人口2万2046人が令和2年には2万281人と5年間で1765人減少する見込みとなっている。15歳から64歳（生産年齢）は、平成27年1万1655人から令和2年には9854人となっており、減少数が1801人と見込まれている。つまり、この生産年齢人口の減少分が全体の人口の減少分となっている。

この層は、地域の所得、生産を支える層であるため、この層の減少がそのまま地域経済力の減少につながってしまう。人口の減少については、若者の多くが市外に進学・就職しているという状況を考えると、簡単には止められない。この層の人口が減っても総所得が維持される、人口は減少しても生産量が維持される、加えて、地域の付加価値を上げる施策として、地域から出て行くコストを地域内に留めるということが地域経済の活性化につながる。

具体的には、①地域内での消費を増やす（例えば、地場の魚、野菜、果物を積極的に消費するなど）、②外に出て行くエネルギーコストを地域で循環させる、③市外から枕崎の企業に通勤している従業員に枕崎に住んでもらうなど、人口減少をカバーしていくことが考えられる。また、④働きたい女性が活躍できる環境を整



▲11月15日、別府センター

備し、女性の雇用拡大を図ること、女性の所得を上げ、経済活性化につなげる。そして、⑤広域で取り組み、アジアの富裕層など外から消費者を連れて来る。

これまでの5年間の総合戦略では、Uターン、Iターン移住対策、婚活、イベントなどが中心だったが、これらの施策のみでは効果が上がらないということは明らかになっている。第2期総合戦略においては、経済を地域内で循環させることで総所得維持・拡大、産業の維持・拡大を図るため、生産年齢人口や総所得、総生産額などに数値目標を掲げ、その目標達成につながる施策のKPI（重要業績評価指数）を設定することが必要になってくる。

私が考えている施策の一つとして、枕崎の強みである「野球」を活用したまちづくりがある。少年野

よりここで教育を受けさせた方がよいという価値をつくるべきだと思っっている。

その他

要望 地域おこし協力隊をうまく活用してもらいたい。現在も3名枕崎に来ていただいて頑張っているが、なかなか市のニーズがうまく見えないとか、いろいろ葛藤しながら活動している。明確な目標があれば地域おこし協力隊の人もそれを目標にそれなりの熱意をもって来てくれるし、それに向かってまい進してくれる。

意見 市民の中にも多くのUターンやIターン者がいて、さまざまな人脈を持っているので、いろいろな市民の意見を吸い上げてもらえたらと思う。地方創生は、スピード感を持って、市民に見える形で取り組まれることが絶対条件だと思っるので、市民の声を吸い上げる仕組みづくりが大事だと思う。

以上、主なものを報告しましたが、この他にもたくさんのご質問・ご意見・ご要望をいただきました。

今後「市長と語る会」を開催する予定ですので、皆さんのご参加をお待ちしております。

■問合せ 総務課秘書広報係
TEL 7211111（内線211）

Topic 2 生涯学習県民大学講座を本市で開催



本県生涯学習推進の中核「かごしま県民大学中央センター」の事業の一環として、11月25日に枕崎市市民会館で2つの講座を実施し、211名が受講しました。

鹿児島純心女子大学元教授の根建洋子さんは「データから考えてみよう！健康寿命を延ばす生活習慣」のテーマで「元気に長生き」するための生活習慣について、科学的・統計的なデータをもとに話しました。

鹿児島純心女子短期大学准教授の森木朋佳さんは「『ちゃんと』きく、『きちんと』伝える」のテーマで、コミュニケーション力をつけるには何が大切なのか、自らの子育ての体験を交えながら、親子のコミュニケーションを中心に話しました。

参加者からは「今後の参考になりました。少しずつでも実践できるようにしたい」「全部良かったです」という感想が聞かれ、大変充実した学習の機会となったようでした。

Topic 1 子どもたちが合唱や合奏等を披露～市学校音楽祭



11月13日、市学校音楽祭が市民会館で開催されました。市内全小・中学校から代表の児童・生徒が出演し、合唱や楽器の演奏などを披露しました。

元気に歌ったり、演奏したりする姿に、会場からは大きな拍手が送られました。

令和元年度 枕崎市職員募集

1次試験日 1月26日(日)

◆受験案内

令和2年4月1日採用の職員を募集します。

試験内容など、詳しくは市ホームページ (<http://www.city.makurazaki.lg.jp>) またはお知らせ版(12月20日号)をご覧ください。

◆採用職種 消防士 (2名程度)

◆受験資格 高校卒業以上または高校卒業見込みの者 (25歳以下(救急救命士の免許を有する者は27歳以下))

※年齢は令和2年4月1日現在

◆試験内容 教養試験・作文試験・消防適性試験・体力測定(※男女の体力差を考慮します)・面接試験・健康診査

◆受付期間 12月9日(月)～1月8日(水)

◆問合せ 総務課職員係 電話 72-1111(内線212)



医療費助成制度の対象者及び助成金振込日

制度名称	対象者	助成金振込日
重度心身障害者医療費助成	<ul style="list-style-type: none"> 身体障害者手帳の1級または2級をお持ちの方 知能指数35以下(療育手帳のA1、A2、B1の一部)の知的障害の方 身体障害者手帳の3級で知能指数50以下の方 ※生活保護受給者を除く。 	申請月の翌月18日
ひとり親家庭等医療費助成	<ul style="list-style-type: none"> 父子家庭の父と児童または母子家庭の母と児童 父母のいない児童 父または母が法に定める障害の状態の児童 父または母の生死が明らかでない児童 父または母が1年以上遺棄している児童 父または母が裁判所からのDV保護命令を受けた児童 父または母が法令により引き続き1年以上拘禁されている児童 ※助成には所得制限があります。 ※重度心身障害者医療費助成対象者、生活保護受給者を除く。 	
子ども医療費助成	<ul style="list-style-type: none"> 0歳から中学校3年生修了までの子ども ※重度心身障害者医療費助成、ひとり親家庭等医療費助成対象者、生活保護受給者を除く。 	申請月の翌月26日

※助成を受けるには、受給資格の登録申請が必要です。
※振込日が金融機関休業日の場合は、前営業日の振り込みになります。
※非課税世帯の未就学児は、窓口無償化の対象ですのでご相談ください。

本市では、左表に該当する方を対象者に、保険診療分の医療費の自己負担額の助成を行っています。

医療費助成金の申請期間は、診療月から2年間です。

医療費助成制度のお知らせ

医療費助成制度

申請手続きについて

福祉課社会係で申請をしてください。

申請に必要なもの 受給資格者証、健康保険証、印鑑、医療機関の領収書(調剤薬局分も含む)

※氏名、診療点数の記載されていないレシートは無効です(領収書の発行を申し出て下さい)。

※子ども医療費助成対象者の方が、県内の医療機関で受給資格者証を提示し、受診した場合、福祉課社会係への申請は不要です。

※高額療養費及び付加給付金のあった場合は、自己負担額からその支給額を控除し、助成します。

※災害共済給付(スポーツ保険)を受けた場合は、医療費助成の対象外となります。

※高額療養費やスポーツ保険等に該当し、既に助成がされている場合、返還していただくこととなります。

受付時間 平日、午前8時30分～午後5時15分

問合せ 福祉課社会係 TEL 72-1111(内線135)

新しい民生委員が決まりました

民生委員

民生委員・児童委員の一斉改選に伴い、左記の方々が新たに委嘱され、各地域で生活上のあらゆる相談・支援活動を行うこととなります。

日ごろ、諸問題でお悩みの方は、お気軽に最寄りの民生委員へお尋ねください。

問合せ 福祉課社会係 TEL 72-1111(内線136)

担当区域	氏名	担当区域	氏名	担当区域	氏名
釧・狩・細・釧	川越悦子	立神本町(田中)	崎向義照	宮田町	台場富恵美
木口屋	三島啓邦	立神本町(田畑)	石場トキエ	東本町	上釜しづ子
田布川	上園章子	塩屋北町	園田義和	泉町	濱村由子
宇都・小園	迫野幸子	塩屋南町	若松田鶴子	宮前町	松野下明美
桜馬場・桜山住宅	水流 正	火之神	向井恵実子	日之出町・若葉町	原田弘子
山口・松下	山口敏則	板敷・鹿水高	小城良子	港町	吉松仁美
宝寿庵・西堀	金崎 肇	東白沢	白澤洋三	中町	松崎伸男
籠原・瀬戸口	福元千鶴子	西白沢	白澤富美子	恵比須町	新屋敷久美子
中村・下園	草野幸子	依積田	田宮弘行	旭町	揚村博郎
岩崎	床波 瞳	中原・日東・瀬戸	中島ゆかり	新町	前山真智子
木場	森 久美子	山崎・真茅	山崎 智	岩戸	松野下富士郎
富岡・通山	通山百合子	松崎・下山・駒水	駒水政則	木原(上)・美初	岩下陽二
瀧山・木場住宅	今給黎 誠	茅野・小塚	茅野幸治	木原(下)	西野義昭
山下・湯ヶ・水流	猪谷陽子	高見町	上釜孝子	桜木町・小江平	東 義則
道野・上竹中・奥ヶ平	木浦嘉美	汐見町・松之尾町	町頭彰子	緑町・石ヶ嶺	神園直子
牧園・下野原	西牟田清司	千代田町	揚村将延	亀沢・石ヶ嶺	立石千奈美
大堀(東)	西村淳子	住吉町	欽田将勝	平田湯・石ヶ嶺	岸田達也
大堀(西)	林 貢	折口町	中村千加代	主任児童委員	依積田修治
大塚(南)・春日	畠野和子	西本町	道地かる子	"	下窪健太郎
大塚(北)	園田成子	山手町・若葉町	立石貴美子	"	朝倉俊江

任期：令和元年12月1日～令和4年11月30日

Topic11 薩摩酒造株式会社が市に寄附金を贈呈



薩摩酒造株式会社から市に寄附があり、11月15日に本坊愛一郎社長が市役所を訪れ、前田祝成市長に目録を贈呈しました。

今回の寄附は、10月に行われた新酒まつりのチャリティービンゴゲームの益金によるもので、本坊社長は「皆さんからいただいた気持ちを福祉関係に有効に使ってほしい」と話しました。

Topic12 台湾で枕崎の味をPR～鹿児島県南部広域物産展in台湾



本市及び3市1町(指宿市、南さつま市、南九州市、南大隅町)で構成する鹿児島県南部広域観光物流実行委員会が主催する「鹿児島県南部広域物産展in台湾」が11月8日から10日までの3日間、台湾の高級スーパー「裕毛屋」で開催され、地域内から5事業者が出展し地域内産品の販路拡大及認知度・ブランドイメージの向上を図りました。

本市からは2事業者が出展し、かつお節やかつお加工品などの試食・販売を行いました。

Topic13 農山漁村再生可能エネルギー法に係る設備整備計画認定書交付式



11月25日、市役所で農山漁村再生可能エネルギー法に係る設備整備計画認定書交付式が行われ、枕崎バイオマスエナジー合同会社に認定書が

交付されました。

今回の認定書は、来年から営業運転が開始される同社の木質バイオマス発電事業が地域の山林未利用材等を原料とした木質燃料を長期的かつ安定的に購入することで、林業所得の向上及び森林整備の促進に貢献し、地域林業の活性化に寄与するものとして、本市が定める「農山漁村再生可能エネルギー法に基づく基本計画」に適合することから交付されました。

Topic8 宝満みゆき教諭に鹿児島県優秀教職員表彰



桜山小学校の寶満みゆき教諭が令和元年度鹿児島県優秀教職員表彰を受賞しました。

この表彰は、学校教育における学習指導や生徒指導、進路指導、体育・保健・給食指導、特別支援教育、部活動指導、学校事務などの各分野において、顕著な実績のある教職員に対して、その功績を表彰するもので、今回の表彰は、寶満教諭が児童の個性を生かした学級運営を行っていることや、これまでに特別支援学級の担任としてもきめ細やかな対応に努めてきたことなどが認められたものです。

寶満教諭は「これからも子どもたちが笑顔で登校し、満足して帰れるよう、1日1日を充実させたい」と話しました。

Topic9 カツオ博士目指し48名が挑戦～第9回枕崎カツオマイスター検定



カツオや鰹節についての正しい知識を身につけ、カツオの伝道師となってもらうことを目的に第9回枕崎カツオマイスター検定が11月16日から2日間にわたり行われ、全国から48名が受検しました。

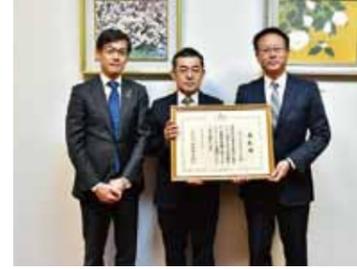
受検者は、鰹節工場の見学やカツオの三枚おろし、おいしい出汁の取り方などに挑戦したほか、座学ではカツオの生体や漁法などについて幅広く学び、検定に臨みましました。今回の検定では38名が合格しました。

Topic10 人権啓発活動街頭キャンペーンを実施



12月4日から10日は、人権週間でした。期間中の4日には、ダイレックス枕崎店で街頭キャンペーンが行われ、本市人権擁護委員や人権イメージキャラクターが人権啓発のためのチラシや卓上カレンダーなどを買い物客に配布し、人権への理解を求めました。

Topic5 立神中学校PTAが優良PTA文部科学大臣表彰を受賞



立神中学校PTAが令和元年度優良PTA文部科学大臣表彰を受賞しました。

今回の受賞は、学校の環境整備や体育大会に向けてのグラウンド整備などを積極的に行っているほか、中学校創立当初から小・中学校及び地域共同の「かつおのびんた料理」による赴任教員の歓迎を行っていることなどが評価されたものです。

PTA会長の山神一益さんは「これからも子どもたちとともに色々なことを学びながら成長していけるPTAであるよう努力していきたい」と話しました。

Topic6 田布川子ども会が全国子ども連合会団体表彰を受賞



田布川子ども会が令和元年度全国子ども会連合会団体表彰を受賞しました。今回の受賞は、過疎化が進む中で集落と一体となってビオトープ

活動に取り組み、メダカなどの放流やコスモスを栽培して行き交う人を楽しませていること、伝統芸能や伝統行事の継承を行っていることなどが認められたものです。

子ども会の塚田珠哩さん(桜山小・3年、写真右から2番目)は「田布川はいい所なので、みんなに来てもらいたい」と話してくれました。

Topic7 山神いお菜さんに枕崎警察署長から感謝状



12月3日、人命救助に貢献したとして山神いお菜さん(枕崎小・2年)に枕崎警察署長から感謝状と色鉛筆が贈られました。

山神さんは、10月27日に親戚と本市宮前町を散歩中、用水路で動けなくなっていた市内在住の60代の男性を発見し、親戚が119番通報を行いました。男性は27日の未明から行方が分からなくなっており、駆けつけた救急隊員に救助されました。

Topic3 板元百合男さんが旭日双光章を受賞～令和元年秋の叙勲



令和元年秋の叙勲が発表され、板元百合男さん(板敷本町・79)が旭日双光章を受賞しました。

板元さんは、昭和62年5月に枕崎市議会議員に初当選して以来、平成15年4月まで4期16年の長きにわたり市議会議員として活動しました。その間、議会運営委員会委員長や議会選出の農業委員、枕崎地区消防組合議会議員、枕崎地区衛生管理組合議会議員などを歴任し、市政の発展に尽力されました。

板元さんは「このような章をもらうとは思っていませんでしたので、びっくりしています。集落を中心とした市民の皆さんのおかげだと思っています」と話しました。

Topic4 市内の優良従業員を表彰～優良従業員表彰式



市内の事業所から推薦のあった従業員を表彰する優良従業員表彰式が11月27日に枕崎商工会議所で開催されました。

今回は鹿児島県商工会議所連合会長表彰として4名、枕崎市長表彰として4名、優良従業員表彰として6名、永年勤続表彰として19名の合計33名が表彰されました。また、鹿児島水産高校の岸下純弘校長と枕崎中学校の石塚宏志校長が枕崎大使として委嘱されました。

令和元年台風19号災害義援金へのご協力ありがとうございました

市では令和元年台風19号で被災された多くの方を支援するため、義援金の募集を行ってまいりましたが、11月29日で受付を終了しました。市民の皆さんのご協力ありがとうございました。

寄せられた義援金(66,710円)は、日本赤十字社を通じて被災地へ配分されます。

新刊紹介

- 一般書 ○児童書



- 朝10分でできるスープ弁当 あったかいからおいしい! 貝たくさんスープレシピ60/有賀 薫(著)/マガジンハウス
- 潮待ちの宿/伊東 潤(著)/文藝春秋
- 私、失敗ばかりなのでへこたれない仕事術/内山 聖子(著)/新潮社



- なんでもモッテルさん/竹下 文子(文)/アヤ井 アキコ(絵)/あかね書房
- マンボウは上を向いてねむるのか マンボウ博士の水族館レポート/澤井 悦郎(著)/ポプラ社
- ふしぎ駄菓子屋銭天堂 12/廣嶋 玲子(作)/jyajya(絵)/偕成社

本の福袋

期間 1月4日(土)~
内容 通常の貸出冊数(5冊)に追加して借りることができます(30セット限定)。1セットに3~5冊入っています。無くなり次第終了です。

フレッシュなあなたにすすめる本展

期間 1月5日(日)~12日(日)
内容 新成人の方や新たな人生の一步を踏み出す若い人におすすめの本を展示・貸出します。

特別整理期間による休館のお知らせ

1月23日(木)~2月6日(木)は、本の点検・館内整理、その他の作業を行うため休館いたします。ご迷惑をおかけしますがよろしくお願いたします。
※本の返却はブックポストをご利用ください。(CD・紙芝居は破損するおそれがあるため除く)

イベント

ベンガラ染めワークショップ

日時 1月19日(日) 午前10時~11時30分
講師 ベンガラ作家・Noma氏
ベンガラとは、土から取れる成分です。媒染剤や火を使わず少量の水で揉み込んで染める省エネルギーな染色です。
材料費 1,500円(手ぬぐい代・泥絵具代)
※動きやすい・汚れても良い服装でご参加ください。
詳しくは、市立図書館までお問合せください。



市立図書館 電話 72-9254
ホームページ
https://www.city.makurazaki.lg.jp/site/library/
★開館時間 9:30~18:00

カレンダー 1月10日~2月8日

日	月	火	水	木	金	土
					10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	1
2	3	4	5	6	7	8

□ 休館日 ☆ イベント



講演会について
墓田吉昭氏の講演会について

- テーマ 「勉強のコツ 作文のコツ」
- 日時 2月1日(土) 午前10時~11時30分(受付:9時30分)
- 場所 市民会館第1会議室
- 対象 小・中学生、保護者
- 参加費 無料
- ※申込み・問い合わせは図書館まで。



今月の担当は
中崎隊員です!



地域おこし協力隊
活動レポート

協力隊が行く!

明けましておめでとうございます。地域おこし協力隊として田布川地区に派遣されている中崎千晶です。新しい年となりました。皆さんは初詣では何をお祈りしましたか?今年も皆さんにとって笑顔が絶えない日々になりますように...

【第6回郷土芸能大会】

11月24日(日)曜日、市民会館大ホールにて枕崎市制施行70周年記念第6回郷土芸能大会が行われました。田布川町にも「棒踊り」が伝承されています。かつて島津公が霧島を開墾するために、田布川からも青年が召集されました。薩摩藩の役人が、武芸の一手でも習得させれば有事の際に兵力の一員として役に立つだろうと、士気を鼓舞する狙いで棒術を取り入れた芸能を習得させたことで始まった踊りです。
大会に向け、踊り手となる集落の小学生、中学生、大人(集落出身の方など)が10月中旬より週3回夜に集まって練習を重ねてきました。また、衣装も合わせるために集落のご婦人たちに採寸や縫い付け等を行って頂きました。毎年ということではないので、踊りも最初はなかなか揃いません。初めて参加した子どもも大人に教えてもらいながら必死で頑張っていました。衣装を着て歌い手さんも揃って練習を重ねました。

当日は各地域の郷土芸能が披露され、先人たちの歌や踊りが令和の世の中に披露されました。地域の人たちが一所懸命に踊り歌い、枕崎の奥深さを感じさせました。
多くの人が参加できるとよいのですが、高齢化もあり参加を募るのも一苦労という状態も聞きます。伝承の難しさを痛感しました。
12月8日、日曜日に、まくらざき探検隊による「下山岳に登ろう」というイベントに親子で参加しました。ご存じの方もいらっしゃるかもしれませんが、下山岳には「二等三角点(二三角点)」「三角測量」という測量法を行う際に地表に設置された基準点のこと。その位置は「標石」により示されていて、測量の密度によって一等地から四等までの等級が定められている。一等三角点の設置間隔は約40kmで、全国に約1000点存在する)があります。開閉岳は二等三角点、下山岳は二等三角点です。当日は老若男女40名ほどの参加者で、登る事約40分かかりました。二等三角点を確認し、開閉岳と雄大な海を見て登山の醍醐味を味わい、事故もなく山を下りるとお昼時間になり「船人めし」を頂きました。
景色は枕崎の別府地域のお茶畑・お芋畑と開閉岳と海。この風景はどこにも負けない風景です。枕崎には素晴らしいものが眠っていて、まだまだ発掘しきれない「枕崎」がたくさんあるように思いました。またまたいろいろ見つけたいと思います。今年もたくさん「枕崎」を発見したいと思います。

燃ゆる感動 かごしま国体

第75回国民体育大会 熱い鼓動 風は南から 2020



⑯鹿児島県地方青少年なぎなた錬成大会を開催

11月30日と12月1日の2日間、枕崎市立総合体育館で、公益財団法人日本武道館等が主催する、「鹿児島県地方青少年なぎなた錬成大会」が開催されました。公益財団法人全日本なぎなた連盟から泉水孝子先生と安井みどり先生、鹿児島県なぎなた連盟から鎌田寿子先生と西田智香先生を講師に迎え、市内外の小・中・高校生約30名が参加しました。
初日は、熊本に江戸時代中期から伝わる「肥後古流長刀」の演武披露があり、参加者たちは普段しているスポーツのなぎなたと古武道の違いに驚いているようでした。その後、基本動作の練習では、新聞をなぎなたで切るなどのユニークな練習も行われました。
2日目は、泉水先生による「袴の襲の言い伝え」と題した講話に始まり、泉水先生からは「稽古が終わって袴を畳むときは、襲の意味を思い出しながら畳んでください」とメッセージが送られました。その後、なぎなたの



▲肥後古流長刀の演武披露 ▲初めてなぎなたを手にし、楽しそうに打ち込む参加者 ▲実技練習のようす ▲新聞をなぎなたで切る練習

市長

コラム

vol.10



未来をつくる仕事

こんにちは、前田祝成です。

昨年4月に始めたこのコラムも今回が10回目の投稿となります。今回は私の仕事について書きたいと思っております。

「仕事とは」と問われたら私は次のように答えます。「趣味は自分のためにすること、仕事は自分以外の誰かのためにすること」。さらに言うところ「いい仕事とは人を助けること」と。「人の役に立つ」ということを言いますが、「助ける」とは「役に立つ」を超えていると思っております。本当にいい仕事をして名を残している人は「人を助けて」います。松下幸之助さん、稲盛和夫さん、スティーブジョブズさん。人間の生活を助ける「領域まで達している気がするのです。できるなら私も人を助けるところまで仕事ができたらと思っています。

さて、市長という仕事を始めて2年が経過しようとしています。私が仕事をすることで気をつけていることは、近視眼的にならないこと、目線を上げて長期的な視点で物事を判断するように心がけています。当然、目の前のさまざまな課題には即対応していかねばなりませんし、緊急性を要する仕事も数多くあります。しかしながら、市政運営を長期的な視点で捉えることは、とても重要です。5年後、10年後をイメージする、未来をイメージして戦略を立てていくことは、とても重要です。未来への物語、戦略ストーリーを描く力が必要ではないかと思っています。

市長の仕事は未来をつくる仕事。そして市民を助ける仕事。今年も、前を向いて、視線を上げて、走り続けます。よろしくお願いたします。



お見送り
スイーツトレインを

■11月14日、「スイーツトレインで南薩を巡るプレミアムツアー」で約70名のツアー客が枕崎を訪れました。枕崎駅では、かつおせんべいや出汁の振る舞いが行われ、枕崎小学校2年生をはじめとする多くの方が特急「はやとの風」を見送りました。



デザインマンホールが完成

■11月14日、デザインマンホール募集事業で最優秀賞を受賞した大工園昭則さんデザインのマンホールが完成し、12月6日まで市役所に飾られました。今年度中には、市内の道路に設置される予定です。



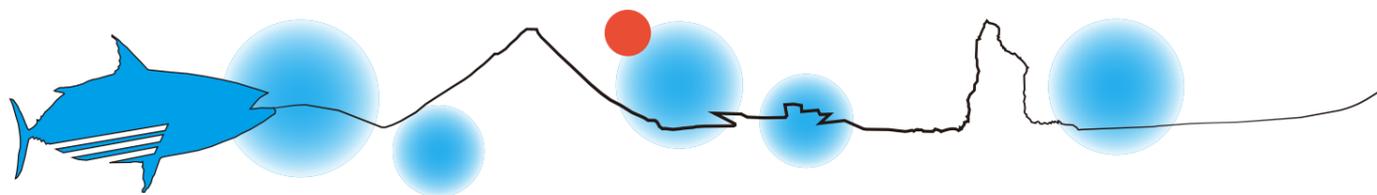
お茶の淹れ方教室

■11月21日、南九州市の日本茶ソムリエ会が枕崎小学校の4年生を対象に行いました。児童は、自分たちで淹れた美味しいお茶を味わいました。



南薩地区秀作展～第74回南日本美術展から～

■12月7日から22日までの期間、南漢館で開催されました。鹿児島市で開催された第74回南日本美術展の作品の中から、南薩地区関係作家の作品が展示されました。



枕崎の魅力が詰まった1冊が完成

～まくらざき探検隊が「まくらざき三十六景」を寄贈

枕崎観光ボランティアクラブのまくらざき探検隊がおすすめの観光スポットを掲載した「まくらざき三十六景」を製作しました。

今回製作した「まくらざき三十六景」は、ドローンを使った空撮写真やスケッチ画の挿入により手作り感があふれる個性豊かな冊子となっているほか、英字・簡体字訳のQRコードを各ページに掲載しており、3カ国語に対応できる観光ブックとなっています。

「まくらざき三十六景」は、市役所や教育委員会、各小中学校に配られたほか、駅前観光案内所や枕崎お魚センター内の枕崎観光協会などに設置されています。



▲まくらざき三十六景



100歳おめでとうございます

～中川フミエさん(住吉町)

中川フミエさんが12月1日、めでたく100歳の誕生日を迎え、2日に市と社会福祉協議会から花束と祝い金が贈られました。

中川さんは、枕崎で生まれ育ち、若い頃は大阪の売店で働き、25年ほど前に枕崎に帰ってきたそうです。長生きの秘訣は「ご飯をお腹いっぱい食べ、よく働き、よく食べ、よく眠ること。良い空気を吸って、働くこと」と話します。

これからも元気で長生きしてください。

11月24日は「いいふしの日」

～鯉節やカツオ製品をPR

11月24日は「いいふしの日」でした。「いいふしの日」を盛り上げようと、枕崎お魚センターでは、鯉節パックの掴み取りやカツオのわら焼きタタキ・ホタテバター・枕崎茶などの振る舞いのほか、カツオ料理教室での実演・試食などが行われ、多くのお客さんと賑わいました。

また、鹿児島空港では、日本一の鯉節の産地をPRし、鯉節の普及拡大及び本市の「食のまち」としてのイメージアップにつなげるため、日本航空(JAL)の東京と大阪からの到着客に鯉節パック、かつおせんべい、観光パンフレット700セットを配布しました。



食のまち枕崎の新たな起爆剤

～「枕崎昆鯉出汁愛鍋」が市内飲食店で販売開始

2月に鹿児島市で開催されたShow-1グルメグランプリ～ご当地鍋大会～でグランプリを獲得した「枕崎昆鯉出汁愛鍋」の市内飲食店での販売が始まりました。12月11日には、枕崎市水産センターで試食・発表会が開催され、市内の飲食店8店舗がそれぞれオリジナルの「枕崎昆鯉出汁愛鍋」を持ち寄りました。各店舗が販売する鍋は、昆布と鯉節の昆鯉出汁を使用し、具材としてB1腹皮と鹿籠豚を入れるという条件の下、各店舗独自にアレンジされた「枕崎昆鯉出汁愛鍋」となっており、12月時点で4店舗(すし匠 五条、だいとく、つちふまず、福寿庵)が販売しており、1月中には残りの4店舗(一福、ABC、花渡川ビアハウス、魚処 なにわ)でも販売が開始されます。

枕崎市通り会連合会の林吾郎事務局長は「この鍋を新たな起爆剤として、枕崎をもっと盛り上げていきたい」と話しました。



①一福 ②ABC ③花渡川ビアハウス ④魚処 なにわ ⑤すし匠 五条 ⑥だいとく ⑦つちふまず ⑧福寿庵

ほっとホット
フォトコース



各保存会がそれぞれの郷土芸能を披露

～第6回郷土芸能大会

11月24日、市制施行70周年記念事業として第6回郷土芸能大会が枕崎市市民会館で開催され、11団体(うち2団体は映像で紹介)が参加しました。

郷土芸能大会は、郷土芸保存会が5年に1度集結し、市内の各地域や集落に伝承されている唄・踊りを広く紹介・披露します。今回、鹿籠金山の作業唄であった「せと節」や小湊に伝えられる女性の踊りである「塩屋笠踊り」、カツオ漁が全盛の頃、エサのカタクチイワシを生かしておくために寝ずに樽の海水を替える時の労働歌であった「汐替節」などが披露されました。



鹿児島水産高校に軽音楽を♪

～SOUTH WAVE ROCK FES 実行委員会が音楽機材を寄附

11月27日、さつま黒潮「きばらん海」枕崎港まつりの運営に携わるSOUTH WAVE ROCK FES 実行委員会から鹿児島水産高校にドラム一式の寄附がありました。同校の生徒が新たに軽音楽を始めたいと活動し始めたことがきっかけでした。

同委員会の茶屋太一郎さんは「枕崎で音楽をする人が少ないので、子どもたちを応援し、音楽で枕崎を盛り上げることができれば」と話し、佐藤息吹さん(海洋科栽培コース・2年)は「楽器をいただけるとは思っていませんでした。これから音楽を頑張りたい」と話しました。

お知らせ

学校給食用物資納入業者「指定願」受付開始

学校給食センターでは、令和2年度学校給食用物資納入業者の「指定願」を受け付けています。指定願用紙は、学校給食センターにあります。最新の検便証明書...

確定申告に関するご相談は確定申告電話相談センター「0」番へ

熊本国税局では、1月16日(木)から3月16日(月)までの間、所得税・消費税・贈与税の確定申告に関する電話相談に対応するため、「確定申告電話相談センター」を開設しています。最寄りの税務署に電話していただき、音声ガイダンスに従って「0」番を選択した後、ご用件をお話ください。相談会場や受付時間などのお問合せについては、専用オペレーターがお答え

税の申告に必要な書類の準備はお済みですか？

令和元年分の税の申告が2月から始まります。申告時間を短縮できるように、早めの準備と確認をお願いいたします。必要書類が整っていない場合、当日に受付できないことや長時間お待ちをすることになります。申告日程などの詳細は、本紙折り込みチラシまたはお知らせ版1月号をご覧ください。営業所得、農業所得、不動産所得等を申告する方...

医療費控除を申告する方

平成30年度の申告から領収書の提出の代わりに「医療費控除の明細書」「セルフメディケーション税制」は併用できません。※領収書を集計していない方は、計算していただいていたから申告受付となります。その他注意事項...

令和元年中に取り壊した家屋及び未登録家屋の名義人変更及び相続人代表指定の届出について

令和2年度固定資産税の課税業務に向けて家屋の現況調査を行っています。令和元年中に次の変更があった方は届出てください。合格発表...

家屋の取り壊し

家屋の取り壊しをした場合、届け出をお願いします。法務局で登記されている家屋を取り壊し、滅失登記の手続きをされた方は市役所への届け出は必要ありません。新築の家屋について...

収入保険制度とは

収入保険制度が始まっています。品目の枠にとらわれず、自然災害による収量減少だけでなく、価格低下なども含めた収入減少を補てんする仕組みです。加入条件...

募集

市立病院薬剤師・看護師

採用予定人員 1名 受験資格 ①薬剤師免許を有する者、②昭和35年4月2日以降に

イベント

中嶋玲子さん講演会

福岡県議会議員の中嶋玲子さん(旧朝倉郡杷木町元町長、福岡

第34回老人クラブ芸能大会

高齢者の方々が自らの健康づくり、生きがいづくりのために各地域で歌や踊りの練習をし、その成果を発表する芸能大会が今年度も開催されます。ご近所お誘いあわせの上、ご参加ください。日時 2月14日(金) 午後1時〜会場 市民会館大ホール 問合せ 市老人クラブ連合会事務局 TEL727450

消費生活メ

高齢者サポートサービス 契約前に十分な検討を

頼れる親族がいない中、知人から紹介され、身元保証サービスや死後の事務手続きを代行する事業者とサポート契約をした。「明日どうなるか分からない。一刻も早く預託金

100万円を支払うように」と事業者から急がされているが、契約内容の詳細な説明を受けていない。どうしたらよいか。

▼身元保証や日常生活の支援、死後事務等を行う高齢者サポートサービスは、事業者によって提供されるサービスの内容や料金体系がさまざま

契約をする際は、自分がどのようなサービスを望んでいるのかを明確にし、事業者にしっかりと伝えることが大切です。契約内容や料金体系などをよく確認し、理解できなければその場で判断せず、周囲の人に相談するなどして、十分に検討しましょう。

消費生活に関するトラブルのご相談は枕崎市消費生活センター(市役所内)まで。TEL72-1111 内線329 ※8:30~12:00、13:00~17:15



今月のテーマ

1日1ごみ!!

歩いていると、空き缶やペットボトル、たばこの吸い殻などのポイ捨てごみが見られます。道路は、ごみ箱や灰皿ではありません。ポイ捨てしたごみは、自然を汚します。

- ごみは、ポイ捨てせずに持ち帰りましょう。
- ごみが落ちていたら、拾いましょう。

1人1ごみ!!きれいで優しい枕崎をみんなで一緒に目指しましょう。

できることから少しずつ、皆様のご協力をお願いします。

問合せ 市民生活課環境整備係 TEL72-1111(内線325)

なるほど! 地域包括ケア

住み慣れた家・地域で安心して暮らし続けたいから

てげてげ広場「全体会」開催!!

本市では、平成27年度から「地域包括ケアシステム」構築の一環として、高齢者の孤立防止や介護予防を目的とした「てげてげ広場」事業を行っています。

てげてげ広場では、おもりの入ったバンドを手足に取り付け、歌を歌いながらゆっくりと体を動かす「てんとうむし体操」を週1回、公民館単位で行っています。11月27日には、13公民館が総合体育館に集まり「全体会」を開催しました。てげてげ広場に参加している方が、日々の取り組みの中で健康意識を維持することや住民主体でてげてげ広場をよりよいものにしていくという意識が高まることを期待し開催しました。

全体会には、リハビリ専門職の有志ボランティアである「あいで会」からも協力をいただき、これまでの取り組みの効果を確認するため体力測定の実施と認知症予防に効果のあるコグニサイズ(認知症予防のために、ステップなどの軽い運動と計算やしり取りなどの簡単な「認知課題」を同時に行うことで、脳の活性化を目指すもの)や脳トレを行いました。

また、この全体会に参加した方々より「てんとうむし体操をして、筋力、体力がついたと思います」「コグニサイズや脳トレが楽しかったです」「てげてげ広場に行くと、みんなに会えます。明日がてげてげ広場だと、前日から楽しみです」などの声が聞かれました。

【11月27日の全体会の様子】



あなたの公民館でも「てげてげ広場」を始めてみませんか?!

地域に通いの場があるということは、地域にとって大切なことで、「てげてげ広場」は、体操だけではなくふれあいや支え合いがあります。今年度は山手公民館、富岡・通山公民館が始まりました。「てげてげ広場」を始めてみたい、興味があるという公民館がありましたら、住民向け説明会を随時開催しています。下記の間合せ先までご連絡ください。

問合せ 地域包括支援センター TEL72-1111(内線461)

「まくらざき」ならではの教育

小・中連携教育の充実を図っています!

問合せ 学校教育課 TEL72-0170

本市では、小・中学校が9年間を見通した教育を行うことで、さらなる学力の向上や中1ギャップの解消を目指し、小・中連携教育を推進しています。4つの中学校区が1小1中である環境のよさを生かしながら、「学びのつなぎ」「心のつなぎ」「体のつなぎ」「家庭・地域のつなぎ」の4つのつなぎを柱にして推進しています。平成30年度からは、隔年実施であった小・中連携教育の研究公開を毎年行っています。

今後も各中学校区の特徴を生かして、小・中連携の充実を図りながら、学力向上をはじめとする教育の充実をめざして考えています。

立神小・中学校「小・中連携教育」研究公開の実施

令和元年11月28日(木)に立神小・中学校が「主体的に学び、心身ともにたくましい児童・生徒の育成～心のつなぎを中心に、9か年の発達段階に応じた指導を通して～」を研究主題とし、「小・中連携教育」の地区・市指定の研究公開を行い、市内外から40名以上の参加がありました。

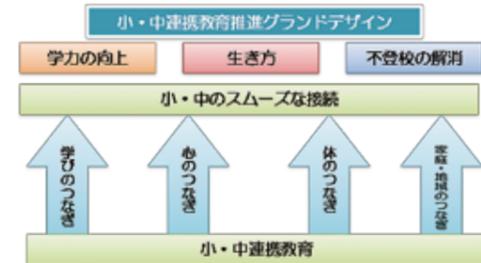
全体会の研究発表では、立神中学校の黒川亮介教諭が、これまでの小・中連携の取組や成果・課題について発表しました。公開授業は、立神小6年生(担任:雪丸勘太郎教諭)、立神中2年生(担任:新原真奈美教諭)が道徳科の授業を行いました。立神小・中学校は、「心のつなぎ」を中心に研究に取り組んでおり、道徳科の授業では、小・中共通の授業の流れで行い、また発達段階に合わせた対話活動を取り入れた授業を公開しました。授業後の分科会では、道徳科の授業や小・中連携教育について活発な意見が交換されました。



研究公開を終えての子ども達の感想

【立神小学校6年 中崎羽菜さん】

「優しいな。」わたしが、まだ5年生のころ、今の中学2年



生ともほりをしたときに感じたことだ。最初は、何をどうすればいいのか分からなかった。しかし、中学校の先輩がそれに気付いて、「こっちだよ。これはこうすればほれるよ。」と教えてくれた。中学生だからこそできる気配りだったと思う。

11月28日に、立神中学校で道徳の授業をする機会があった。少し緊張した。いつもとは違う雰囲気であるからみんな不安だったと思う。だけど、その雰囲気に左右されずに、いつも通りに授業できるのが中学生だと思う。中学生になるまでに、たくさんレベルアップしたい。

【立神中学校2年 吉永千紗さん】

立神小・中学校の児童生徒は、一緒に活動したり行事等へ参加したりして、日頃から交流しています。運動会、体育大会は相互に参加して、長縄跳びで回数を競い合っています。中学校弁論大会には6年生が参加して、代表の小学生も意見発表を行っています。また、毎月21日の「立神きずなの日」には、小・中学校の活動を紹介した「立神のきずな」を交換して校内に掲示しています。これを見ると、小学生の頃を懐かしく思い出します。

このような様々な交流は、小学生にとっては、中学校生活への安心感や期待感ももてると思うし、中学生にとっては、中学生としての自覚が高まり、活動がさらに活発になると思っています。

防災一口メモ

いざという時のために



災害に備えて(自助)

災害が発生した時は、まずは自分が無事であることが重要です。日頃から、次のことに気を付けましょう。

- ・家具などが倒れてこないように壁などに固定をしておきましょう。
- ・避難する時に割れた窓ガラス等でけがをしないようスリッパ等の履物を準備しておきましょう。
- ・防寒対策をしておきましょう。

生き延びていくためには、水や食料などの備えをしておくことも必要です。

問合せ 総務課危機管理対策係 TEL72-1111(内線214)

南溟館 イベント情報

開 9:00 ~ 17:00

※入館は16:30まで

休 毎週月曜日

※月曜日が祝祭日の場合は翌日

問 TEL72-9998

かむさびのしらべ 神雅乃調べ音楽会

日本の最古典文学である古事記、日本書紀、延喜式の内容のうち「いのちの起源と意味」に着目し、その祝詞の朗詠と合奏即興演奏を披露します。

- 日時 1月12日(日) 午後3時開演(午後2時30分開場)
- 会場 南溟館(第2展示場)
- 観覧料 1,000円(当日券500円増、中高生・65歳以上は割引あり、小学生以下無料)

枕崎市文化協会新春イベント

枕崎市文化協会加盟団体による新春イベントを開催します。今回は枕崎せんじ会(美術)、しゃらくたてがみ(写真)、楓嵐(陶芸)、枕崎水墨画会(水墨画)、華道連合会(生花)、IT研究会(映像)による合同展示を行います。19日(日)11時からギャラリートークも行います。

詳しくは南溟館までお問い合わせください。

- 期間 1月15日(水)~30日(木)

- 会場 南溟館(第1展示場、研修室)
- 観覧料 無料

枕崎幼稚園作品展

- 期間 2月1日(土)~7日(金)
- 会場 南溟館(第1展示場、市民ギャラリー)
- 観覧料 無料

12月28日(土)から1月4日(土)まで南溟館は年末年始の臨時休館です。 ※1月6日(月)は休館日。

受けて安心! 女性のためのがん検診

20~30代の女性がかかる「がん」でもっとも多いのが、子宮の入り口付近にできる「子宮頸がん」です。日本では毎年約1万人の女性が子宮頸がんにかかっており、2000年以降は20~30代の罹患が増加しています。また、「乳がん」は女性に一番多いがんで、40~50歳代をピークに発症や死亡が増加しており、日本人女性の約11人に1人が生涯で乳がんにかかる危険があります。

そこで本市では、10月に実施した子宮頸がん検診・乳がん検診を受診されなかった方を対象に、次の日程で追加検診を実施します。完全予約制のため、待ち時間も少なく受診できます。検診希望の方は事前予約が必要です。

○対象者

- ・子宮頸がん検診Ⅱ平成12年4月1日以前に生まれた女性
- ・乳がん検診Ⅱ昭和53年4月2日~昭和54年4月1日生まれの女性

○予約先 予約受付方法は「インターネット」と「電話」による2つの方法があります。

【電話での予約】
 ・博愛会健診事業部(相良病院) TEL099-224-1821
 ・ヘルスサポートセンター(鹿兒島) TEL099-267-6292
 ※受付期間Ⅱ1月7日~14日(土日・祝日は除く)9時~17時
 【インターネットでの予約】
 枕崎市ホームページから「女性検診」と検索する方法と、左のQRコードを読み込んでいただく方法と2通りあります。



▲QRコード

- 検診内容
 ・子宮頸がん検診Ⅱ視診・細胞診
 ・乳がん検診Ⅱ乳房×線撮影
- 検診会場 健康センター
- 料金
 ・子宮頸がん検診Ⅱ：国民健康保険以外の方Ⅱ600円、国民健康保険の方Ⅱ無料(保険証を提示してください)

※70歳以上の市民、市民税非課税世帯・生活保護世帯で証明書を提示した方は無料です。
 ・乳がん検診Ⅱ：令和元年度無料クーポン券を当日ご持参ください(9月に個別通知しています)。

健康ちゃんねる

問合せ 健康センター TEL72-7176

